



復興局長官直木博士
を訪ねて記者の感じた事

1

日本帝國に土木あつて以來の初めての大事業をなすべき復興局長官に直木氏を得た事は、日本の技術家としては異數な事であり、何等政治的背景なくして、此の大なる技術的政務の集團を率ひて着々進まれつゝあるのは氏の技術的手腕と人格的實力の大なるに因るのであります

2

フーバー卿を本誌に對照して紹介する事は、本誌の頗る光榮する處であります、然し米國の巨大なる富と寛大なる人情の下で然も責任觀念の強い人々に因つて仕事するの事、日本の現状を對照しては頗る遺憾の點があるでしやぶが、復興の大事業に對しては國家の有ゆる方面の人々が一致團結して、新興的に大なる成功をもたらすべき事を信じます。 (北 斗 生)